

# 資料 3

## 議題（3） 中間市地域公共交通計画の一部改訂について

### 1 概要

#### AI オンデマンドバス導入に関する一部改訂

AI オンデマンドバスの導入に際し、当初の中間市地域公共交通計画では中間南校区等、小エリアで実証運行を行い、そこで明らかとなった課題等への対応を図りつつ、段階的にエリアを広げ、検証しながら進めていくことにするとしていましたが、対象範囲を中間南校区等、小エリアから中間市全域に拡大し、運行を開始する。

### 2 対象箇所

別紙「新旧対照表」のとおり

新旧対照表

頁 97

変更後（令和7年12月一部改訂版）

**【基本目標1】**  
地域公共交通ネットワークの維持・確保

**【事業1-3】**  
コミュニティバスのAIオンデマンド化（需要に応じた運行体系）

**①目的**

- コミュニティバスの利用者ニーズへ対応するため、コミュニティバスのAIオンデマンド化を検討する。

**②内容**

- 現在、コミュニティバスは、自家用車への依存をはじめ、運行ルートや利用方法等の情報不足を理由に利用者が少なく、年々減少傾向にある。買物や通院など、普段の外出機会は多いにもかかわらず、このような状況に置かれているのは、利用者のニーズに対応しきれていないと考えられる。
- そこで、この状況をフォローするためには、現在の定時定路線型ではなく、区域運行で網羅する必要があり、さらに利便性向上を図るためにには近年のAIやICT等の公共交通に関する多様なデジタル技術を活用することが有効であることから、AIデマンドシステムの導入を検討する。
- 導入検討にあたっては、交通空白地域を解消するため、中間市内全域を対象範囲として運行を開始し、運行後に明らかとなった課題等への対応及び検証を行い、事業の改善を図ることとする。

**■AIオンデマンド型乗合交通の概要**

乗りたいときに行きたい場所まで自由に移動できるオンデマンド型公共交通システム。複数の利用者からリアルタイムに発生する「乗降リクエスト」に対して、AI（人工知能）を使い最適な運行ルートを決定するため、乗合をしつつ、概ね希望時間どおりの移動が可能となり、効率的な運行が



**③実施主体とスケジュール**

事業	実施主体	2024 (R6)年	2025 (R7)年	2026 (R8)年	2027 (R9)年	2028 (R10)年
コミュニティバスのAIオンデマンド化	中間市 コミュニティバス事業者		検討		運行開始	

変更前（令和6年3月策定版）

**【基本目標1】**  
地域公共交通ネットワークの維持・確保

**【事業1-3】**  
コミュニティバスのAIオンデマンド化（需要に応じた運行体系）

**①目的**

- コミュニティバスの利用者ニーズへ対応するため、コミュニティバスのAIオンデマンド化を検討する。

**②内容**

- 現在、コミュニティバスは、自家用車への依存をはじめ、運行ルートや利用方法等の情報不足を理由に利用者が少なく、年々減少傾向にある。買物や通院など、普段の外出機会は多いにもかかわらず、このような状況に置かれているのは、利用者のニーズに対応しきれていないと考えられる。
- そこで、この状況をフォローするためには、現在の定時定路線型ではなく、区域運行で網羅する必要があり、さらに利便性向上を図るためにには近年のAIやICT等の公共交通に関する多様なデジタル技術を活用することが有効であることから、AIデマンドシステムの導入を検討する。
- 導入検討にあたっては、まずは現在コミュニティバス（フレンドリー号）が運行している中間南校区等、小エリアで実証運行を行い、そこで明らかとなった課題等への対応を図りつつ、段階的にエリアを広げ、検証しながら進めていくこととする。

**■AIオンデマンド型乗合交通の概要**

乗りたいときに行きたい場所まで自由に移動できるオンデマンド型公共交通システム。複数の利用者からリアルタイムに発生する「乗降リクエスト」に対して、AI（人工知能）を使い最適な運行ルートを決定するため、乗合をしつつ、概ね希望時間どおりの移動が可能となり、効率的な運行が



**③実施主体とスケジュール**

事業	実施主体	2024 (R6)年	2025 (R7)年	2026 (R8)年	2027 (R9)年	2028 (R10)年
コミュニティバスのAIオンデマンド化	中間市 コミュニティバス事業者				検討・実証運行	

## 新旧対照表

頁	変更後（令和7年12月一部改訂版）	変更前（令和6年3月策定版）																												
100	<p><b>【基本目標2】</b> 新たな技術の活用等による地域公共交通の利便性向上</p> <p><b>【事業2-2】（再掲）</b> コミュニティバスのAIオンデマンド化（利便性向上に向けた効率的な運行）</p> <p><b>①目的</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● コミュニティバスの利便性向上のため、コミュニティバスのAIオンデマンド化を検討する。</li> </ul> <p><b>②内容</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 現在、コミュニティバスは、自家用車への依存をはじめ、運行ルートや利用方法等の情報不足を理由に利用者が少なく、年々減少傾向にある。買物や通院など、普段の外出機会は多いにもかかわらず、このような状況に置かれているのは、利用者のニーズに対応しきれていないと考えられる。</li> <li>● そこで、この状況をフォローするためには、現在の定時定路線型ではなく、区域運行で網羅する必要があり、さらに利便性向上を図るためにには近年のAIやICT等の公共交通に関する多様なデジタル技術を活用することが有効であることから、AIデマンドシステムの導入を検討する。</li> <li>● 導入検討にあたっては、交通空白地域を解消するため、中間市内全域を対象範囲として運行を開始し、運行後に明らかとなった課題等への対応及び検証を行い、事業の改善を図ることとする。</li> </ul> <p>■AIオンデマンド型乗合交通の概要</p> <p>乗みたいときに行きたい場所まで自由に移動できるオンデマンド型公共交通システム。複数の利用者からリアルタイムに発生する「乗降リクエスト」に対して、AI（人工知能）を使い最適な運行ルートを決定するため、乗合をしつつ、概ね希望時間どおりの移動が可能となり、効率的な運行が</p>  <p><b>③実施主体とスケジュール</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業</th> <th>実施主体</th> <th>2024 (R6)年</th> <th>2025 (R7)年</th> <th>2026 (R8)年</th> <th>2027 (R9)年</th> <th>2028 (R10)年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コミュニティバスのAIオンデマンド化</td> <td>中間市 コミュニティバス事業者</td> <td></td> <td>検討</td> <td></td> <td>運行開始</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	事業	実施主体	2024 (R6)年	2025 (R7)年	2026 (R8)年	2027 (R9)年	2028 (R10)年	コミュニティバスのAIオンデマンド化	中間市 コミュニティバス事業者		検討		運行開始		<p><b>【基本目標2】</b> 新たな技術の活用等による地域公共交通の利便性向上</p> <p><b>【事業2-2】（再掲）</b> コミュニティバスのAIオンデマンド化（利便性向上に向けた効率的な運行）</p> <p><b>①目的</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● コミュニティバスの利便性向上のため、コミュニティバスのAIオンデマンド化を検討する。</li> </ul> <p><b>②内容</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 現在、コミュニティバスは、自家用車への依存をはじめ、運行ルートや利用方法等の情報不足を理由に利用者が少なく、年々減少傾向にある。買物や通院など、普段の外出機会は多いにもかかわらず、このような状況に置かれているのは、利用者のニーズに対応しきれていないと考えられる。</li> <li>● そこで、この状況をフォローするためには、現在の定時定路線型ではなく、区域運行で網羅する必要があり、さらに利便性向上を図るためにには近年のAIやICT等の公共交通に関する多様なデジタル技術を活用することが有効であることから、AIデマンドシステムの導入を検討する。</li> <li>● 導入検討にあたっては、まずは現在コミュニティバス（フレンドリー号）が運行している中間南校区等、小エリアで実証運行を行い、そこで明らかとなった課題等への対応を図りつつ、段階的にエリアを広げ、検証しながら進めていくこととする。</li> </ul> <p>■AIオンデマンド型乗合交通の概要</p> <p>乗みたいときに行きたい場所まで自由に移動できるオンデマンド型公共交通システム。複数の利用者からリアルタイムに発生する「乗降リクエスト」に対して、AI（人工知能）を使い最適な運行ルートを決定するため、乗合をしつつ、概ね希望時間どおりの移動が可能となり、効率的な運行が</p>  <p><b>③実施主体とスケジュール</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業</th> <th>実施主体</th> <th>2024 (R6)年</th> <th>2025 (R7)年</th> <th>2026 (R8)年</th> <th>2027 (R9)年</th> <th>2028 (R10)年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コミュニティバスのAIオンデマンド化</td> <td>中間市 コミュニティバス事業者</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>検討・実証運行</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	事業	実施主体	2024 (R6)年	2025 (R7)年	2026 (R8)年	2027 (R9)年	2028 (R10)年	コミュニティバスのAIオンデマンド化	中間市 コミュニティバス事業者				検討・実証運行	
事業	実施主体	2024 (R6)年	2025 (R7)年	2026 (R8)年	2027 (R9)年	2028 (R10)年																								
コミュニティバスのAIオンデマンド化	中間市 コミュニティバス事業者		検討		運行開始																									
事業	実施主体	2024 (R6)年	2025 (R7)年	2026 (R8)年	2027 (R9)年	2028 (R10)年																								
コミュニティバスのAIオンデマンド化	中間市 コミュニティバス事業者				検討・実証運行																									